



にいがた 内科医会だより

令和2年度
春号 No.4
令和3年3月15日
新潟市内科医会

幹事のひとこと

新型コロナと聴診器

幹事 山口 正康

左上の聴診器の絵は、「にいがた内科医会」のロゴとしてデザインしました。父が愛用していた古い型の聴診器をスケッチしたものです。当時の聴診器は胸に当てる部分が象牙でできていて、温かみがありました。耳に当てる管はゴム管でできていて、父は器用に二本の管を耳に入れて聴診していました。今、私がやってみても、すぐに耳から外れてしまいます。父の診察は、どんな時でも必ずヒョイとゴム管を耳に入れて聴診していました。ただ血圧の診察なのにとおもいましたが、「今日も大丈夫だ！」といつも大きな声で呼びかけると、診察を終えた患者さんの安心しきった顔がありました。聴診器はただの「診断器具」ではなく、医者と患者を結ぶ「信頼の器具」なのだと教えられました。

フランス人医師のラエンネックが聴診器を発明してから 200 年以上経ちました。その間、様々な機器が発達し、迅速に診断が可能になった現在ですが、身体診察に関しては、丁寧に患者と接した一昔前の先生の方が優れていたかもしれません。

100 年前に世界をパンデミックにした「スペイン風邪」。日本での感染状況を示す論文の中に、入院した軍人 470 人のカルテ調査の文献が見つかりました。その中には、血圧計の調達もままならない時代でありながら、呼吸数、体温、脈拍の他、“肺胞呼吸音”の記載が肺炎合併の所見としてきちんと記載されていました。感染症に立ち向かい、真摯に診療し、記録した医師たちの生きざまが伝わってきます。聴診器による聴診は 200 年もの間、伝承されてきた技であり科学です。また、患者と医師をつなぐツールでもあります。

聴診器が発明される前までは、医師は自分の耳を直接患者さんの胸に押し当てて呼吸音を聞いて聴診していました。すでに紀元前 380 年には、ヒポクラテスは「健康な人と具合の悪い人では、体の中の音に違いがある」と気づいていました。

1816 年、ラエンネックはある日、二人の子供が長い棒を耳に当てて遊んでいるのを見て、筒形の聴診器を発明します。患者を聴診器で診察し、病気にはそれぞれの特有の音があることを発見します。泡がはじけるようなラ音。雑音が混ざるブリュイ。ヤギの鳴き声のようなヤギ音。肺の病気と呼吸音の関係を解明し治療に役立てました。当時最も恐れられていた死の病、結核の特有の肺音にも気づき、結核の早期発見に大きく貢献します。ラエンネックは自分が発明した聴診器により、肺結核と診断され、45 歳の若さでこの世を去りました。聴診を科学し、感染症に立ち向かった偉大な人間像に心打たれます。聴診器のおかげで診断精度も上がり、時代の流れとともに形を変えながら、聴診器は現在まで使われ続けています。

新型コロナ感染症は、2021 年 2 月現在、世界で 1 億 1 133 万人の感染者と 247 万人の死者が見られ、世界中がソーシャルディスタンスを強いられています。その中で、新型コロナ感染症の患者を治療する、世界中の医療従事者は、患者に近づき、寄り添い、励まし、いのちの息吹を吹き込んでいます。恐れずにソーシャルディスタンス内に潜りこみ、聴診器で心音や呼吸音を確認し、日夜闘っています。心から感謝し、声援を送ります。



私たちが聴診器を手にするとき、患者さんとの距離は60 cm余り。聴診器を通して聞こえる患者さんの音は、患者と医師の信頼関係の音でもあります。このコロナの時代、遠隔診療で直接患者と接しない機会が多くなり、AIの普及で医療が簡素化する中、聴診器を胸に当てる丁寧さと安心感を、患者さんと共有していきたいです。聴診器を持つことは、医師のトレードマークでもあり、また誇りでもありますから。

幹事のひとこと

「バンクシーからの贈り物」

学術部長 細野 浩之

皆さんは、ストリートアーティストのバンクシー (Banksy) を知っていらっしゃいますか？皆さんにとってはくだらない、いたずら人間とも言えるかもしれません。その作品は、決して芸術性に優れているわけではありません。風刺精神にあふれた軽妙なユーモアはあっても、精神的な深みが感じられるわけでもありません。その作品は単なるいたずら書きの壁画主体です。ただそこに、さまざまなストーリー性を合わせ持っています。ある時に、私は現代アート美術館で、本物の壁画の一部や作品を見て、優しさと正義感に裏打ちされたユーモアとストーリー性が大好きとなってしまいました。

そんなバンクシーがコロナ禍で外出が難しい時に、インターネットという時代の兵器を使って、贈り物をくれました。ぜひインターネットで検索をしてみてください。

My wife hates it when I work from home.

まずは、コロナ禍で外出できなくイライラしていた時に、みんなの心を代弁しました。暗い気持ちの時にクスッと笑いたくなります。家から出られなくてイライラして、いたずらしたくなっている自分を、自宅のバスルームでいたずらするネズミに置き換え、やりたい放題させています。しかもその題名は「家で仕事していると妻が嫌がる。」

If you don't mask - you don't get

またある時は、地下鉄電車の中で、すぐに消されることを計算して、清掃員に変装して、絵をかいていく一連の作業を動画投稿ビデオでネット配信しました。マスクをしていないネズミがくしゃみをして、つばを(とウイルスも)まき散らしたりする絵をかいて、最後に感染による苦境からの再起を鼓舞したメッセージとして

I GET LOCKDOWN

BUT I GET UP AGAIN

をスプレーで「落書き」していました。

Game Changer

ここでは医療従事者に対して感謝の気持ちと大きなメッセージを送ってくれたのです。ネットでの動画配信やストリートアートではなく、正式に手書きの作品を病院に送るといった、バンクシーとしては異例のやり方でした。そして、「皆さんのご尽力に感謝します。モノクロの作品ですが、これで少しでも場が明るくなればと願っています。」とメッセージをそえて。ネットにはその作品の4カットが公開され、受け取った病院のスタッフからさらに画像が拡散しました。男の子がバットマンやスパイダーマンといったお馴染みの超人的な力を持った強い男のヒーローではなく、名もない、超人的な力もない、女性の医療従事者の人形を選んで遊んでいる描写でした。その題名を「**Game Changer** (根本から変える人)」とし、ヒーローの概念が超人的な力を持った男から、名もない超人的力もない(治す力もない)いち医療従事者へと変わっていくのだとしています。

今は家にこもりがちでイライラですが、何とか再びたちあがるべく、コロナ感染症に対して一つ一つ対策を施してゆかねばならない、また、いち医療従事者としてこのコロナ感染症に対して何ができるだろうか、何をすべきなのかと考えさせられたのでした。

COVID-19 の 3 つの対策

総務部長 岡田 潔

新型コロナによって、令和 3 年 1 月の幹事会は書面報告となりました。

1. 新潟市医師会新型コロナ相談外来の受診者、PCR 陽性数

年月	R2. 11					R2. 12					R3. 1					R3. 2					合計
	1	2	3	4-	計	1	2	3	4-	計	1	2	3	4-	計	1	2	3	4-	計	
受診者数 (検査数)	40	49	62	60	211	59	54	59	73	245	64	56	59	64	243	45	44	51	38	178	877
陽性者数	1	1	1		3	1	2	2		5	1		1	4	6					0	14

2. 新型コロナ宿泊療養施設の問題点

新潟市には 2 ヶ所のホテル設置。中越（令和 1 月中旬から柏崎で稼働）や上越ホテル（妙高）。また担当医については、新潟市のホテルは、新潟市医師会からは毎週 2 名、新発田市医師会からは 1 名が当番に当たります。他も地区医師会にお願いしています。

原則として中学生以下であれば、小児オンライン診療担当医（市民病院小児科）に診察をお願いしております。ただし、付き添いが必要な場合は、陰性の保護者を入所させるという問題もあるので、自宅療養の対応となります。逆に保護者が陽性で子供が陰性の場合は、子供の世話がが必要なケースでは一緒に入院または自宅対応となります。

退所基準となる症状軽快は、解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が軽快傾向にあること、となっています。居住地の保健所長により捉え方は様々ですが、味覚・嗅覚障害が遷延しても退所となるケースが大半です。

退所後の職場復帰の対応は、退所後（退所の決定と連絡も）は保健所が行っていますので、判断は保健所ごとで多少異なるかも知れません。ただし、療養解除と同時に就業制限も解除となります。マスク着用等の感染対策、自己の健康管理は続ける必要はありますが、通常生活に戻れるような支援をお願いします。

3. 新潟市新型コロナウイルスワクチン接種のプラン（令和 3 年 2 月 28 日時点）

- ・新潟市と新潟市医師会では 2021 年 4 月以降、ワクチン供給開始後速やかに高齢者からワクチン接種を開始したいと考えています。
- ・かかりつけ医での個別接種を基本として、高齢者施設等への出張接種や各区 1、2 か所で土日の集団接種も実施する予定です。集団接種は病院・診療所の医師・看護師のご協力をお願いします。
- ・V-SYS 入力については「接種希望量の入力」と「接種実績の登録」について、できる限り医療機関で行い、その結果に基づき、配送については行政が一括して管理する予定です。かかりつけ医ではワクチンの予約をお願いします。個別と集団接種の選択は任意です。
- ・新潟市の接種対象者
 - 高齢者（65 歳以上） 約 23.3 万人
 - 基礎疾患有者（16～64 歳） 2.8 万人（国推計より人口の 6.3%で推計）
 - 一般（16～64 歳） 約 42.4 万人
- ・新潟市の個別接種計画
 - 接種率見込み 70%（令和 2 年度の高齢者インフルエンザワクチン接種率 約 65%から試算）
 - 接種件数 約 33 万回（約 23.3 万人×70%×2回）
 - 1 施設当たり毎週 41 人（令和 2 年度の高齢者インフルエンザワクチン接種 436 施設で試算）
- ・新潟市では接種数が均等になるように、年齢による接種順位を設ける予定です。

学術講演会開催予定・実績

開催日程	会場 等
令和 3年 4月 8日 (土)	新潟グランドホテル及び Web 視聴システム
4月 17日 (土) 総会	新潟東映ホテル
5月 20日 (木)	会場未定 (Web 視聴システム併用予定)
6月 17日 (木)	ANA クラウンプラザホテル新潟及び Web 視聴システム
7月 15日 (木)	会場未定 (Web 視聴システム併用予定)
8月 19日 (木)	詳細未定
9月 16日 (木)	会場未定 (Web 視聴システム併用予定)
10月 21日 (木)	会場未定 (Web 視聴システム併用予定)
11月 18日 (木)	会場未定 (Web 視聴システム併用予定)
12月 2日 (木)	詳細未定
令和 4年 1月 20日 (木)	詳細未定
2月 17日 (木)	詳細未定
3月 17日 (木)	詳細未定

※予定は変更となる可能性があります。最新情報は事務局までお問い合わせください。

原稿募集

「にいがた内科医会だより」の原稿を募集いたします。

タイトル、内容は随筆、趣味、映画、音楽、本、グルメ、学術など、お好きなジャンルでご投稿ください。

文字数は400～1,000字程度で、画像の掲載も可能です。

お知らせ

新潟市内科医会のホームページができました。ぜひご覧ください。

URL <http://niigata.japha.jp/>



にいがた内科医会だより 令和2年度 春号 No. 4

発行日：令和3年3月15日

発行：新潟市内科医会

〒950-0914

新潟県新潟市中央区紫竹山 3-3-11

新潟市総合保健医療センター5階（新潟市医師会内）

URL <http://niigata.japha.jp/>

TEL 025-240-4131 FAX 025-240-6760